



ALTIS

目次

本マニュアルの使い方	3
ケアとメンテナンス	4
時計機能	5-6
キーと機能	7-8
表示記号とその意味	9-10
主表示モード	11-12
時計機能の設定	
時間・日付と、表示単位の設定	13-14
コンパスを測定する	15-16
気圧計の圧力の設定	17
高度計の設定	18-22
日常アラームの設定	23

目次

時計を操作する	
時間モード	24
コンパスモード	25
気圧計モード	26-28
高度計モード	29-33
ログ記録/データ履歴モード	34
スキークロノグラフモード	35-36
クロノグラフモード	37-38
スペックと計測範囲	39
トラブルシューティング	40
ケアとメンテナンス	41
バッテリーを交換する	42

概要

ALTISユニットには、先進的な時計・クロノグラフ機能がすべてそろっているだけでなく、高度計/気圧計/ウェザーステーションなども付いています。時計は感度の高い技術的機器ですので、ご注意ください。適切なお手入れと管理により、何年もご使用いただくことができます。しかし、間違ったお手入れや取り扱いをすると、センサーが損傷し機能停止することがあります。

このマニュアルは、時計機能の設定や操作をご理解していただくため、セクションに分けて読みやすくしてあります。時計を実際にお使いになる前に、このマニュアルの全セクションをよくお読みいただき、すべての操作に習熟してください。

正しい設定と操作により、時計がさらに便利に使用でき、楽しみが広がります。

本マニュアルの使い方

本マニュアルは腕時計の主な機能を各セクションに分けて説明しています。時計画面のマップは出発点または各操作の重要画面を表し、操作説明はその近くに表示されます。重要なキーは、**押し続ける**や**押す**などのようにカラー表示されています。プログラミングおよび操作方法は画面イラストの近く、キーポイントおよび重要事項はハイライト文字で示されています。

警告と注意

警告：実際にエクササイズプログラムをはじめめるか、または激しい運動をする前に、体調を完璧にするため医師に相談し、適切な方法を確認することを強くお勧めします。

注意：この腕時計は、3気圧の静圧まで防水対応です。また、シャワーを浴びたり、軽い水泳をしたりする場合は身に着けたままでも問題ありません。しかし、高度計センサーポートからユニット内に水が浸入したり、ユニットの破損につながったりするため、水中での過度の使用は、できるかぎり避けることをお勧めします。

注意：ユニットが湿っていたり、水中にあるときは、キーのシールから湿気が浸透し、ユニットの破損につながったりすることがありますので、キーは押さないように注意してください。

注意：強い磁場に置くと、コンパスユニットが誤作動したり、コンパスセンサーが永久に破損したりする原因になる場合があります。ユニットは、磁場から離して保存してください。

警告：本製品は、飛行、スキーダイビング、ハンググライディングの主な高度機器として、または、その他のスポーツで、高度が急激に変化したり、工業精度が必要であったりする場合には対応していません。

時計機能

時間

- ・ 時刻/曜日/日付/月
- ・ 2つのタイムゾーン
- ・ 2つのデイリーアラーム

コンパス

- ・ デジタルコンパス
- ・ 偏差調整可能

高度計

- ・ デジタル高度計
- ・ 動作範囲:-2296 ft ~ 29520 ft (-700m ~ 9000m)
- ・ 上昇・下降率
- ・ 高度アラーム
- ・ 20件のログ記録(ログ日付、上昇・下降平均、上昇・下降合計、ラップ数、合計時間)

気圧計

- ・ デジタル気圧計
- ・ 海面気圧・絶対気圧表示(mbar/hPaまたはinHg表示)
- ・ 表示単位1 mbar (0.05 hPa)
- ・ 動作範囲:300 mbar ~ 1100 mbar (8.16 inHg ~ 32.48 inHg)
- ・ 天気予報
- ・ 24時間気圧変動グラフ表示

温度計

- ・ デジタル温度計
- ・ 華氏または摂氏のユーザオプション
- ・ 動作範囲: 14 ° F ~ 140 ° F (-10 ° C ~ 50 ° C)

時計機能

スキークロノ

- ・ スタート地点からベース高度までのスキーのタイムを計算
- ・ 下降率の計算

クロノグラフ

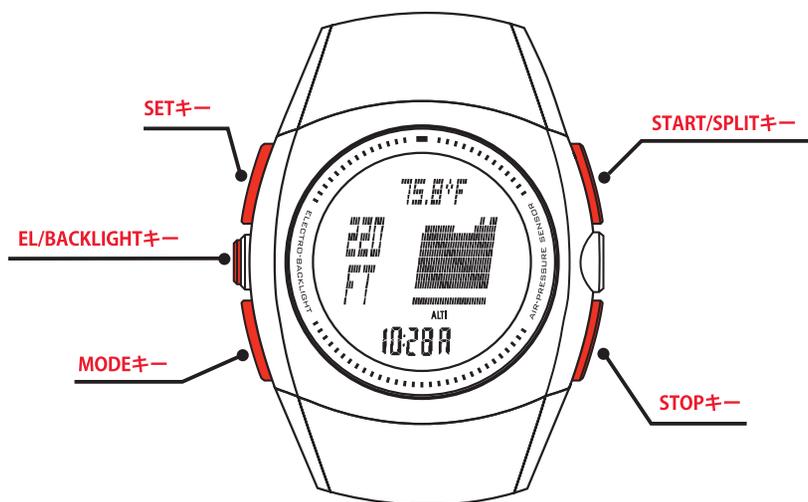
- ・ 表示単位:1/100秒
- ・ 24時間 / 50 ラップ
- ・ 20件の計測記録メモリー(ラップ/スプリット、ベストおよび平均ラップタイム)

その他

- ・ ELバックライトシステム
- ・ 耐水50m (165ft)
- ・ ユーザ自身で電池交換可能

キーとその機能

ALTISには5つのキーがあります。各キーには、いくつかの機能があります。図は、本マニュアルで使用するキーとその名称を表します。



キーとその機能

MODEキー

各操作モードをスクロール選択
設定操作時に変数選択

EL/BACKLIGHTキー

ELバックライトシステムを作動

SETキー

設定操作の開始/終了
ログファイルの削除
クロノグラフデータをスクロール選択

START/SPLITキー

タイムゾーン1またはタイムゾーン2にアクセス
コンパス機能の再開
気温の単位を切り替え(° Fまたは° C)
気圧の単位を切り替え(mbar/hpaまたはinHg)
ログ記録開始
設定操作時に変数増加
クロノグラフ開始(ラップ)
クロノグラフモードでラップ/スプリット 開始
スキークロノグラフ開始
アラーム入/切
チャイム入/切

STOPキー

2次モードをスクロール選択
設定操作で変数減少
クロノグラフ停止
クロノグラフのリセット

表示記号とその意味

天気アイコン

記号	説明	意味
	晴れ	気圧計の圧力が高い場合、天気は晴れ
	一時曇り	気圧計の圧力が下がっているか、上昇している場合、天気は変わりやすい
	曇り	気圧計の圧力が低い場合、雨の可能性がありますが、可能性は低い
	雨	気圧計の圧力がかなり低いか、下がっている場合、雨か雨の可能性が あります。

時間アイコン

記号	説明	意味
A	AM	午前
P	PM	午後
	日常アラーム	日常アラーム有効
	キーチャイム	キーチャイム作動中
	電池残量少	電池を交換してください

表示記号とその意味

高度計アイコン

記号	説明	意味
	上矢印	ユーザは上昇中
	下矢印	ユーザは下降中
Ft / Min	フィート/分	上昇または下降率(フィート単位)
M / Min	メートル/分	上昇または下降率(メートル単位)
	ログブック記録アイコン	ログブック記録中です。
Diff	高度差表示	点滅時は高度差表示作動中

気圧計アイコン

記号	説明	意味
SEA level	海面	海面気圧表示
inHg	inhg	Inches of Mercury 気圧計の圧力単位
mbar / hPa	mbar	ミリバール気圧計の圧力単位
	摂氏	摂氏温度単位
	華氏	華氏温度単位
Diff	気圧差	点滅時は気圧差表示作動中

主表示モード

主表示モード

ALTISには、8つの主表示モードがあります。主モードの選択には、**MODE**キーを**押し**てください。2次モードの選択には、**STOP**キーを**押し**てください。



時計機能の設定

時間・日付と、表示単位の設定

1. 時間モードになるまで、**MODE**キーを**押し**てください。
2. **START/SPLIT**キーを**押し**続けて、**タイムゾーン1**または**タイムゾーン2**を選択してください。
3. 設定操作になるまで、**セット**キーを**押し**続けてください。

注：上画面に、現在設定/調整中の表示単位が表示されます。設定中の表示単位が点滅します。Start/Splitキーで設定中の変数を増加、またはStopキーで設定中の変数を減少させます。押し続けると、スクロール速度が上がります。

4. 時調整には、**START/SPLIT**または**STOP**キーを**押し**ます。
5. **MODE**キーを**押し**て、**分**の設定にします。**START/SPLIT**または**STOP**キーを**押し**て、調整します。
6. **MODE**キーを**押し**て、**秒**の設定にします。**START/SPLIT**または**STOP**キーを**押し**て、調整します。
7. **MODE**キーを**押し**て、**年**の設定にします。**START/SPLIT**または**STOP**キーを**押し**て、調整します。
8. **MODE**キーを**押し**て、**月**の設定にします。**START/SPLIT**または**STOP**キーを**押し**て、調整します。
9. **MODE**キーを**押し**て、**日**の設定にします。**START/SPLIT**または**STOP**キーを**押し**て、調整します。
10. **MODE**キーを**押し**て、**12**または**24時間表示**にします。**START/SPLIT**または**STOP**キーを**押し**て、調整します。



時計機能の設定

時間・日付と、表示単位の設定(つづき)

11. **MODE**キーを**押し**て、**高度計単位**の設定(フィートまたはメートル)にします。**START/SPLIT**または**STOP**キーを**押し**て、調整します。
12. **MODE**キーを**押し**て、**気圧単位**の設定(INHGまたはMBAR)にします。**START/SPLIT**または**STOP**キーを**押し**て、調整します。
13. **MODE**キーを**押し**て、**温度単位**の設定(FまたはC)にします。**START/SPLIT**または**STOP**キーを**押し**て、調整します。

注：Setキーを押すと、いつでも設定操作が終了できます。

タイムゾーン2の設定

1. 時間モードで、**START/SPLIT**キーを**押し**続けます。タイムゾーン(T1またはT2)が、下表示行でかわるがわる点滅します。
2. 設定操作が開始されるまで、**SET**キーを**押し**続けてください。
3. 時・分・秒・月・日・年を調整してください。
4. **SET**キーを**押し**て、**設定操作を終了**してください。

注：表示単位(12/24時表示、高度、気圧、温度など)は、タイムゾーンに依存しません。

時計機能の設定

コンパスを測定する

ALTISには、非常に正確なデジタル磁気コンパスが装備され、1度単位で表示できます。コンパスを調整して、使用地域に対応した磁針偏差を補正することができます。

コンパスは、定期的に測定してください。コンパスは、適正に作動していないと思われる場合は常に、測定してください。長期の辺境地方への旅行等、適正な精度が必要となる活動を行う前には、コンパスを測定することをお勧めします。

コンパスモードで:

1. 較正操作になるまで、**SET**キーを押し続けてください。「**ROTATE CAL**」が画面に表示されます。
2. 1回転あたり約15秒の速さで、きちんと2回転、**時計を時計回りに回転させてください。**

注: 最適な精度を保つため、コンパスは、測定中は平らな場所に置きます。測定中は、コンパスが水平になりやすいように、飲料水のグラスの上にユニットを置くことをお勧めします。

3. **MODE**キーを押し、**set Declination (偏差の設定)**にします。(次ページの「磁針偏差」を参照してください。)

注: 使用地域の磁針偏差がわからない場合は、この設定を0にしたまま、**Set**キーを押して較正操作を終了してください。

4. **START/SPLIT**または**STOP**キーを押し、偏差設定の1桁目(点滅している数字)を調整します。
5. **MODE**キーを押し、偏差設定の2桁目の**設定**に進めます。**START/SPLIT**または**STOP**キーを押し、調整します。
6. **SET**キーを押し、**較正操作を終了**してください。



時計機能の設定

磁針偏差

磁気コンパスは、地上磁気の北極を示します。場所によって、真北からずれる場合があります。磁針偏差を調整して、この変動を調整できます。各地域の磁針偏差は、トポグラフィマップをご覧ください。偏差は、時間や距離によって変化することがあります。偏差設定ソースが最新のものであることを確認してください。磁針偏差を確認するには、次のウェブサイトがおすすめです。

米国の偏差は以下を参照ください:

<http://www.ngdc.noaa.gov/seg/geomag/jsp/Declination.jsp>

カナダの偏差は以下を参照ください:

http://gsc.nrcan.gc.ca/geomag/field/mdcalc_e.php

時計機能の設定

気圧の設定

ALTISには、高感度の気圧計/ウェザーステーションが装備されています。気圧計は、絶対気圧を測定し、基準海面(MSL)に修正した気圧を計算します。気圧は、水銀柱インチ(inHg)またはミリバール/ヘクトパスカル(mbar/hpa)で表示されます。

気圧計モードで:

1. **SET**キーを押し続けてください。
2. **START/SPLIT**または**STOP**キーを押して、現在の天気アイコンを設定します。

注: 天気アイコンは4種類あります。晴れ・時々曇り・曇り・雨。現在の天気にもっとも近いアイコンを選択してください。今後6時間の天気はどうなるか、予想を示すアイコンに変わります。

3. **MODE**キーを押して、気圧の設定に進めます。

注: 時計の気圧設定をでたらめに調整しないでください。気圧を不正確に設定すると、高度計や天気の表示も不正確になります。この機能の適切な使用方法がよくわからない場合は、この変数を出荷時の設定のままにしておいたほうがよいでしょう。非常に正確さを求めたい場合は、基準海面気圧を調整できます。

4. **START/SPLIT**または**STOP**キーを押して、海面気圧を調整します。
5. **SET**キーを押して、設定操作を終了してください。



時計機能の設定

高度計の設定

ALTISの高度計システムは、測定に気圧計の圧力を使用しているため、ユニットを既知の高度に定期的に校正しておくことが重要です。精度を最大限にするには、日常の校正が必須です。天気が変わりやすい時期にユニットを使用している場合、頻りにユニットの校正が必要になる場合があります。一般的に、1日使用の中で圧力変動が小さい場合、ユニットの精度には大きな影響はありません。しかし、天気前線の往来によって、数百フィート以上、現在の天気表示が変更になることがあります。

注: 高度計設定操作では、調整する変数が点滅表示されます。Start/SplitまたはStopキーを押して、調整する変数を増減してください。調整したい変数を選択するには、Modeキーを押します。変数が設定されたら、Modeキーを押して、高度計の主設定操作に戻ってください。Setキーを押すと、いつでも設定操作が終了できます。

ALTISには、6つの高度計サブモードが備わっています。サブモードをスクロール選択するには、Stopキーを押してください。高度計設定操作は、TEMP/Altitude/TIME表示以外の全サブモードから開始できます。(サブモードの詳細な説明は、29ページの「時計の操作」を参照してください。)

時計機能の設定

高度計の設定 (続き)

ALTISでは、3つの高度計現在位置が使用できます。現在位置機能により、時計のメモリーに、あらかじめわかっている3つの高度を設定しておくことができます。これらの事前設定により、気圧の変化で起きた高度のずれを簡単に補正することができ、日常の較正プロセスに役立ちます。特定の場所(たとえば、自宅、いつものトレイルの起点、よく行くヒルスキー場のベース地点など)の正確な高度を知っている場合は、その地点をALTISにあらかじめ設定しておき、その場所に行った時にすばやく較正することができます。現在位置機能と関係なく、時計の現在高度を調整することもできます。



高度計モードで(TEMP/ALTITUDE/TIME以外の高度計画面で):

1. **SET**キーを押し続けてください。上表示行に、選択した場所の名前(Current Altitude(現在地の高度)、Local 1、Local 2またはLocal 3)が点滅します。
2. **START/SPLIT**または**STOP**キーを押し、場所をスクロール選択します。
3. 選択した場所が上表示行で点滅したら、**MODE**キーを押し、その場所の高度設定に進みます。高度表示フィールドが点滅します。
4. **START/SPLIT**(増大)または**STOP**(減少)キーを押し、高度を調整します。
注: Start/SplitまたはStopキーを押し続けると、高度計設定のスクロール速度が上がります。
5. 高度を調整したら、**MODE**キーを押し、高度計設定メニューに戻ってください。上表示行が点滅します。設定したい場所の高度調整が終わったら、**START/SPLIT**キーを押し、高度計設定のスクロール選択を続けてください。

時計機能の設定

最大および累積高度のリセット

6. **最大高度のリセット**には、MAXが画面で点滅している時に、**MODE**キーを押し、最大高度フィールドが点滅します。**START/SPLIT**または**STOP**キーを押し、リセットしてください。

注:表示は0にリセットされ、操作モードに戻った時に、現在高度値とみなされません。

最大高度を保持するには、**START/SPLIT**キーを押し、高度計設定メニューに戻ってください。

7. ACCフィールドの点滅時に、**MODE**キーを押し調整してください。累積高度フィールドの点滅時に、**START/SPLIT**または**STOP**を押し、リセットしてください。

注:ACC値を保持し、このステップを中止するには、ACCフィールドの点滅時に、Start/SplitまたはStopキーを押し、高度計設定メニューに戻ることができます。

(次のページに続く)



時計機能の設定

高度アラーム

ALTISには、音声による高度アラームが備わっており、あらかじめ設定された高度を越えると、鳴ります。この機能は、高度計設定操作から**オン/オフ**することができます。

8. **START/SPLIT**または**STOP**キーを**押して**、高度アラームに進みます。「ALRM」が表示行中央に表示されます。
9. **MODE**キーを**押して**、高度アラームの設定にします。**START/SPLIT**または**STOP**キーを**押して**、高度アラームを**オン(ON)**または**オフ(-)**に調整します。

注: 次のステップに進むには、アラームが作動中(ON)でなければなりません。

10. **MODE**キーを**押して**、指定する高度の設定に進めます。**START/SPLIT**または**STOP**キーを**押して**、**高度を調整**します。

注: Start/StopまたはStopキーを押し続けると、高度計設定のスクロール速度が上がります。

11. 高度を設定したら、**MODE**キーを**押して**、高度アラームON/OFFウィンドウに戻ってください。**START/SPLIT**または**STOP**キーを**押して**、**高度アラームを作動/停止**します。
12. **MODE**キーを**押して**、**主設定操作**に戻ってください。
13. 高度設定を確認するには、**START/SPLIT**または**STOP**キーを**押して**ください。**SET**キーを**押して**、**設定操作を終了**し、**操作モード**に戻ってください。



時計機能の設定

高度計の事前設定を使用した時計の較正

高度計モードで:

1. **SET**キーを**押し続けて**ください。
2. **START/SPLIT**または**STOP**キーを**押して**、高度計事前設定を**スクロール**選択します。
3. 選びたい事前設定が点滅している時に、**SET**キーを**押して**ください。ユニットは、対応する事前設定の高度設定に較正されます。

注: 事前設定メニューにない既知の高度にユニットを較正する場合は、**現在地点**を選択して、19ページの「**現在高度と高度計事前設定の設定**」の3~5を繰り返してください。

4. **SET**キーを**押して**、**操作モード**に戻ってください。



時計機能の設定

日常アラームの設定

ALTISでは、個別2件のデイリーアラームが使用できます。

デイリーアラームの設定

1. アラームモードで、**STOP**キーを**押し**て、アラーム1またはアラーム2(上表示行でAL-1またはAL-2)を**選択**してください。
2. **SET**キーを**押し続けて**ください。
3. **START/SPLIT**または**STOP**キーを**押し**て、調整します。
4. **MODE**キーを**押し**て、分の設定にします。**START/SPLIT**または**STOP**キーを**押し**て、調整します。
5. **SET**キーを**押し**て、設定操作を終了してください。

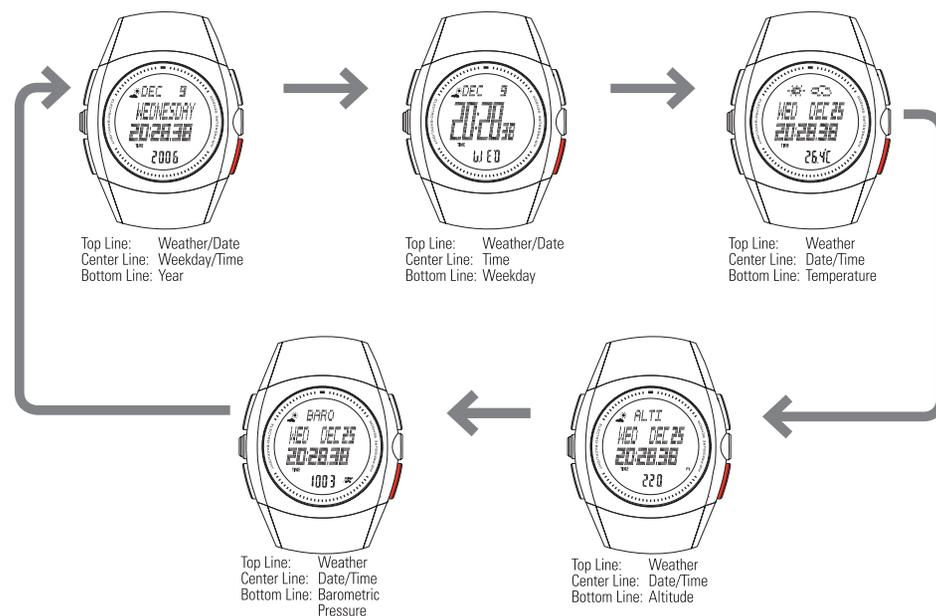


アラームのオン/オフ

1. アラームモードで、**STOP**キーを**押し**て、アラーム1またはアラーム2(上表示行でAL-1またはAL-2)を**選択**してください。
2. **START/SPLIT**キーを**押し**て、高度アラームをオン/オフ(下表示行)にします。
3. 他のアラーム設定にスクロールするには、**STOP**キーを**押し**ます。
4. 上表示行にCHIME(チャイム)が表示されたら、**START/SPLIT**キーを**押し**て、キーチャイムをオン/オフします。

時間モード

ALTISには、5つの異なる時間表示オプションが備わっています。**STOP**キーを**押し**て、表示オプションをスクロール選択してください。



タイムゾーンの表示と選択

タイムゾーンの表示/変更には、Start/Splitキーを押し続けます。

時計を操作する

コンパスモード

コンパスモードで利用できる画面表示は1つしかありません。四方位基点の現在の方向が、中央部に回転スケールとして表示され、下部には、温度の現在の数値が表示されます。

コンパスを再起動させる

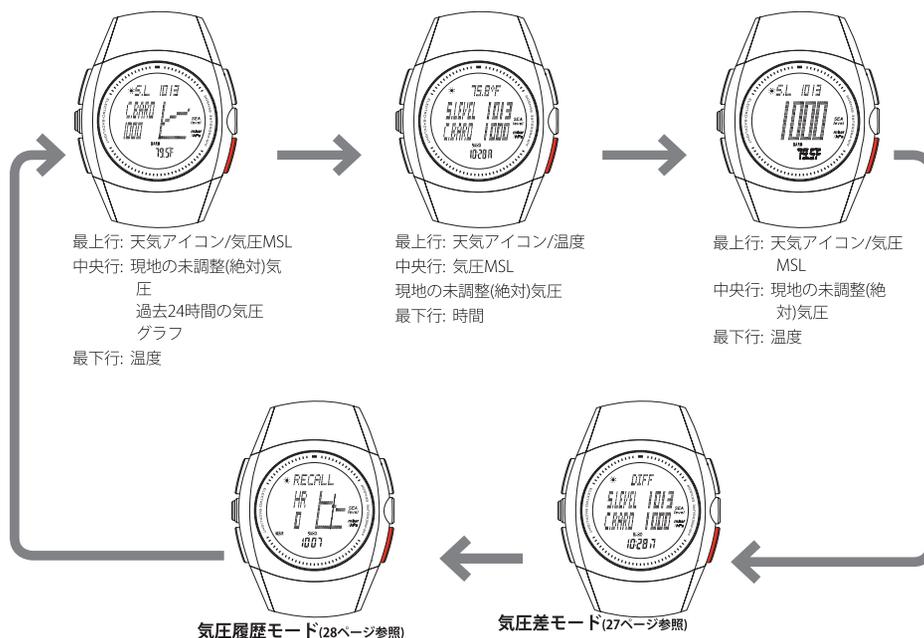
電力を省力化するため、ALTISユニットのコンパス機能は、30秒間有効のままになっています。コンパスのディスプレイを再度有効にするには、**START/SPLIT** キーを押し続けてください。



時計を操作する

気圧計モード

ALTISには、5つの気圧計表示モードが備わっています。**ストップキーを押し、表示モードをスクロール選択してください。**



注:表示1・2・3では、気圧単位(水銀柱インチ[inHg]またはミリバール/ヘクトパスカル[mbar/hpa])と温度表示(°Fまたは°C)を、**START/SPLIT** キーを押し続けることで、変更できます。

時計を操作する

気圧差モード

ALTISでは、リアルタイムで気圧変化を追跡することができます。

気圧差を選択している場合:



最上行: 天気アイコン/モード表示(DIFF)
中央行: 気圧MSLの変化
現地の未調整(絶対)気圧の変化
最下行: 時間

気圧の変化を記録するには:

1. 気圧差モードで、**SET**キーを**押し続けて**ください。上表示行に**SET DIFF**と表示されます。
2. **START/SPLIT**または**STOP**キーを**押す**と、海面と現在の気圧の値(中央表示行の**S.LEVEL & C.BARO**)が**0**にセットされます。
3. **SET**キーを**押して**、測定を開始してください。
4. 測定終了には、**SET**キーを**押し続けて**ください。
5. この機能を**中止**するには、海面と現在の気圧の値(中央表示行の**S.LEVEL & C.BARO**)が実際の気圧値を表示するまで、**START/SPLIT**または**STOP**キーを**押して**ください。
6. **SET**キーを**押して**、気圧モードに戻ってください。

時計を操作する

表示モード5 気圧履歴モード

ALTISでは、過去24時間の気圧変化を追跡し、変動をスクローリング・グラフで表示します。

START/SPLITキーを**押して**、**時間表示をスクロール**してください。

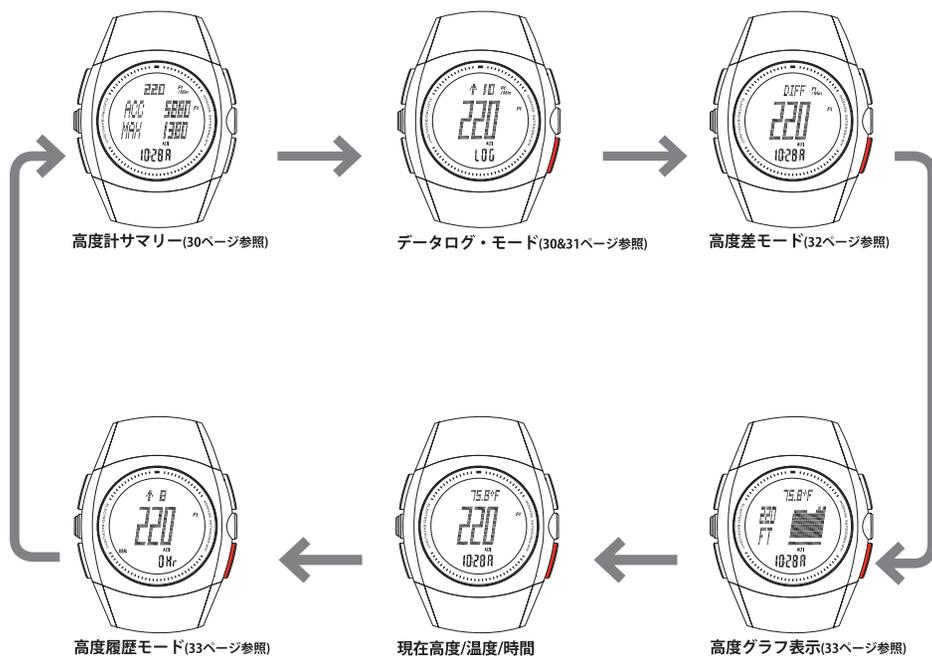


最上行: 天気アイコン/モード表示(RECALL)
中央行: 気圧測定値の時間軸(現在を起点)/
現地の未調整(絶対)気圧
過去24時間の気圧のグラフ
最下行: 測定時の気圧MSL

時計を操作する

高度計モード

ALTISには、6つの高度計表示モードが備わっています。**STOP**キーを押して、表示モードをスクロール選択してください。



時計を操作する

高度計サマリー

高度計モードを開始すると、ALTISは高度計サマリーを約2秒間表示し、ログ記録機能に戻ります。(値は、高度計設定操作でリセットできます。)



最上行: 現在の高度
 中央行: 累積高度(フィートまたはメートル単位)
 最大高度(フィートまたはメートル単位)
 最下行: 時間

データログ

ALTISは最大20件の高度計データログを記録・保管できます。保管情報の内訳は、日付・合計垂直上昇/下降・平均上昇/下降率・合計時間です。

データログが選択されている場合:



最上行: 現在の上昇/下降率(1分あたりのFt/M)
 中央行: 合計垂直上昇
 合計垂直下降
 最下行: 現在の高度

時計を操作する

データログ (続き)

データログを記録するには:

1. データログ画面で、**START/SPLIT**キーを**押し続け**ます。
2. 上表示行に**データログ番号**が表示されます。中央表示行で**START**が点滅します。活動中のデータログ・ウィンドウが表示されるまで、**押し続け**ます。(約2秒)



データログ記録を停止して保管するには:

1. データログ画面で、**START/SPLIT**キーを**押し続け**ます。
2. 上表示行に**データログ番号**が表示されます。中央表示行で**STOP**が点滅します。静的ログ記録ウィンドウが表示されるまで、**押し続け**ます。(約2秒)
3. データログ・ファイルを表示するには、34ページのデータ履歴を参照してください。



時計を操作する

高度差

ALTISでは、設定点からの高度変化が追跡できます。また、記録開始からの時間も追跡できます。

高度差が選択されている場合:

最上行: 上昇/下降指示矢印/現在の上昇/下降率(1分あたり)
のFt/M)
中央行: 基準標高からの+または-変化
最下行: 経過時間



高度差機能を開始するには:

1. 高度差モードで、**SET**キーを**押し続けて**ください。
2. **START/SPLIT**または**STOP**キーを**押し**すと、高度測定値(中央表示行)が0にセットされます。
3. **SET**キーを**押し**して、測定を開始してください。
4. 測定終了には、**SET**キーを**押し続けて**ください。

注: **START/SPLIT**キーを**押し続けて**も、このモードでの記録を**停止**して**データログを開始**することができます。

5. この機能を**中止**するには、**START/SPLIT**または**STOP**キーを**押し**てください。高度測定値(中央表示行)が現在の高度が表示されます。
6. **SET**キーを**押し**て、**気圧モードに戻**ってください。

時計を操作する

高度グラフ表示

ALTISは、過去24時間にわたる高度を追跡し、棒グラフ形式で表示します。



最上行: 表示された時間の上昇/下降率
中央行: 時間内の上昇
最下行: 高度計測定値の時間軸(現在起点)

注: **START/SPLIT**キーを押し続けて、高度の単位(フィートまたはメートル)を切り替えてください。

高度計履歴モード

ALTISでは、過去24時間の最大高度を追跡し、変動をスクローリング・グラフで表示します。

START/SPLITキーを押して、24時間の時間軸をスクロールしてください。**STOP**キーを押して、高度計モードをスクロール選択してください。



最上行: 表示された時間の上昇/下降率
中央行: 時間内の上昇
最下行: 高度計測定値の時間軸(現在起点)

時計を操作する

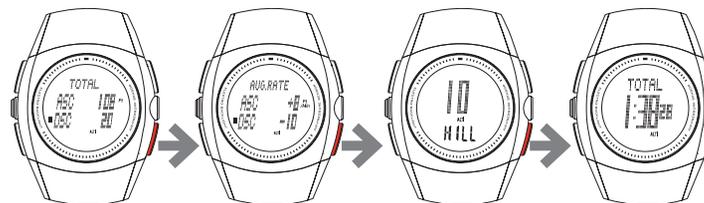
ログ記録/データ履歴モード

高度計データログの確認

データログ画面での開始:

時計は、自動的に最新の高度計ログファイル記録を表示します。画面の中央行に**ログ番号**、上下の行にファイルの**日付**が表示されます。

1. **START/SPLIT**キーを押して、記録ファイルをスクロール選択します。
2. **ストップ**キーを押して、選択したデータログを表示します。
3. **ストップ**キーを押して、データログ情報をスクロール選択してください。
4. 次の画面で情報を表示してください。



画面1
合計上昇・下降

画面2
平均上昇・下降率

画面3
丘の数
(丘とは、垂直に150
ftまたは50m以上の上昇
と下降を示す)

画面4
データログの合計経
過時間

データログファイルの削除

データログ画面での開始:

1. **START/SPLIT**キーを押して、記録ファイルをスクロール選択します。
2. 選択したファイルが表示されたら、**SET**キーを押し続けてください。画面に**HOLD CLEAR**と表示されます。**SET**キーを押し続けてください。**SET**キーを放してください。
3. **すべてのファイル**をメモリーから消去するには、**SET**キーを押し続けてください。すべてのファイルが消去されると、画面に4つのダッシュ(---)が表示されます。**SET**キーを放してください。



時計を操作する

スキークロノグラフ

ALTISには、計時システムが備わっており、急な坂(スキーコースなど)の頂上からスタートし、ベース地点まで下って戻る時間を追跡します。追跡は、あらかじめ設定したベース高度で止まります。(気圧の変化による高度のずれによる誤差は、35 ft/10m以内です。)

ベース高度の保管

ベース高度は、自動または手動で保管できます。

自動保管

ベース高度として設定したい地点に物理的にいる場合(たとえば、時間を計測したいコースの一番下に立っている場合)、スキー・モードで:

1. **STOP**キーを押し続けてください。現在の高度がベース高度として保管される間、画面に**STORE ALTI**と表示されます。
2. 完了すると、画面の最上行に**STORED**と表示され、**STOP**キーを放すことができます。すると、新しいベース高度が、画面の下の中央行に表示されます。



手動保管

ベース高度を手動で保管したい場合:

1. **SET**キーを押し続けてください。約3秒間、画面に**SET HOLD**と表示され、その後、ベース高度の自動調整画面に自動的に変わり、中央行に高度が表示されます。
2. 選択した高度に表示が調整されるまで、**START/SPLIT**または**STOP**キーを押し、ベース高度を調整してください。
3. **SET**キーを押し、設定モードを終了し、1次スキー・クロノグラフ画面に戻ってください。

注: 現地の気圧変化により、計測時間の誤差が生じ、正確性に影響が出るため、ベース高度の保管をこまめに行うことをお勧めします。



時計を操作する

スキークロノグラフを操作する

1. ベース高度を設定したら、スキーコースの頂上地点で、**START/SPLIT**キーを押し続けてください。10秒のカウントダウン・タイマーが開始されます。
2. タイマーが**0**になると、時計が鳴ります。スキーで滑り始めてください。プログラムしたベース高度に到達すると、タイマーは自動的に停止します。
3. 滑降後、画面は次のように表示されます:



最上行: 滑降の経過タイム
中央行: 現在の高度
ベース高度
最下行: 時間



4. また滑降を開始するには、現在のベース高度を使用するために**START/SPLIT**キーを押し、自動または手動のベース高度保管手順を開始します。

時計を操作する

クロノグラフモード

ALTISには、24時間、50ラップの高度なデジタル・クロノグラフ機能があります。クロノグラフの測定単位は、最初の1時間は0.01秒(その後は1秒単位)で、ラップタイムと合計タイムを、同時に画面に表示します。

クロノグラフ操作

クロノグラフ・モードで:

1. 計時開始には、**START/SPLIT**キーを**押し**てください。画面に次のように表示されます。



2. 1回のラップを計測するには、**START/SPLIT**キーを**押し**てください。画面に次のように表示されます。



3. 計時終了には、**STOP**キーを**押し**てください。

時計を操作する

ワークアウト・データの確認

ALTISは、最後のワークアウトのサマリーを表示します。

タイマーを停止したクロノグラフ・モードで:

1. **SET**キーを**押し**てください。



最上行 ラップ番号/ラップタイム(ラップ1から昇順)
最下行 スプリットタイム(ラップ後は合計経過タイム)

2. **SET**キーを**押し**て、ラップデータをスクロール選択してください。
3. ラップ明細後、時計はベストラップ(最短タイムのコマ)を表示します。**SET**キーを**押し**て、データの呼び出しを続けてください。
4. 最後に、平均ラップタイムが表示されます。
5. データ呼び出しを終了するには、**START/SPLIT**または**STOP**キーを**押し**てください。

注:**START/SPLIT**キーを**押し**て、クロノグラフをクリアせずに、**時間計測を再開**することもできます。

クロノグラフのクリア

タイマーを停止したクロノグラフ・モードで:

1. 約2秒間、**STOP**キーを**押し**続けてください。



仕様と範囲

全般

水圧 5気圧
時計バッテリー CR 2032 3v Lithium

高度計

範囲 -702 ~ +9158m / -2305 ~ +30,045ft
最小表示単位 1m / 1ft

高度計ログ

日付、時間、縦上昇と降下距離および率、ラップと合計遅延時間を保存する日付の個別コードファイル20個
ログ記録の表示単位は、7 ft/ 2メートルです。

温度計

範囲 -10 ~ +50C / +14 ~ +122F
最小表示単位 0.1C/0.1F

コンパス

1度の解像度
四方位基点のデジタルベゼルを回転させる

気圧計

範囲300 ~ 1100mbar/hPa または (8.86 ~ 32.48 inHg)
最小表示単位 1mbar/hPa or 0.01InHg

クロノグラフ

範囲 24時間
最小表示単位 最初1時間0.01秒、2~23時間は1.0秒

クロノグラフログ

50ラップ/分割
ラップ/分割、ベストラップ/分割、平均ラップ/分割を示す実行/練習20

トラブルシューティングー基本

ALTISは、感度がよく、高度な機器です。手入れを適切にしていれば、長年使い、精度が保たれます。しかし、問題が発生することがあります。消費者が、関わるこれらの製品に関連する問題のほとんどは、バッテリーが切れているか、消耗しているかの問題です。

ユニット内での新しいバッテリーの推定消耗期間は、約1年ですが、ユニットのコンパス、高度計やELシステムを使用頻度が多い場合それに応じて短縮されます。ユニットの機能に関連する問題に直面した場合で、特に、バッテリー交換から半年以上経過している場合、はじめに新しいバッテリーを入れることをお勧めします。

注意：この時計で使用するバッテリータイプはリチウムバッテリーは、不適切な保存方法には耐用しません。新しく購入したバッテリーが購入前に切れてしまったり、消耗したりする場合があります。新しいバッテリーがすべてよいとは判断しないでください。バッテリーを新しいものに交換しても、問題が解決しない場合、確認のため、別の販売店の別のバッテリーを使用してみてください。ALTISの時計ユニットのバッテリーが故障の場合、次のような症状があります。

1. ディスプレイが薄れるか、何も表示されない。
2. EL システムを操作しているときに何も表示されなくなり、EL システムの電源をオフにしたときに、元に戻った。
3. 高度計またはコンパスシステムからの読取が不正確。

コンパスは磁気を使用していますので、使用場所で電磁放射(EMI)を出すものの影響を受けます。電気機器のそば、車内、ホームセキュリティ・システムの近く、その他EMIの原因となるものの近くでは、コンパスを使用しないでください。何度かコンパス較正をしても、ERRメッセージが表示される場合は、コンパスの消磁を行ってください。コンパス・モードで画面に「CAL」と表示されている時に、時計を消磁器の上にかざすと、コンパスを消磁することができません。多くの小売店や図書館には、盗難防止のための消磁器があります。消磁器の例として、製品に付けられた磁気式の盗難防止タグを消磁する機械があります。

ALTISには、さまざまな環境で幅広く使用できるディスプレイが付いています。しかし、ユニットを極端に気温の低い(<32 Fまたは 1c) 場所で使用した場合、ディスプレイの機能が通常より遅くなる場合があります。極端に熱いか、または寒い場所に置いた場合、ディスプレイが暗くなる場合があります。ディスプレイは、温度が通常範囲に戻ると、元に戻ります。

ケアとメンテナンス

ALTISは、衝撃、極端な熱および直射日光に当たらないようにしてください。バッテリーの交換に関する修理手順は、本マニュアルに記載のとおりに行ってください。時計を分解、または修理などは**絶対にしないで**ください。時計は、室温で清潔な、乾燥した場所に保存してください。

時計は、柔らかい布で拭いてください。レンズを拭くときは、引っかき傷となって、読みにくくなることもあるため、文字盤で埃をこすり付けないように注意してください。

時計バッテリーの交換

ALTISは、共通**CR2032 3v** リチウムバッテリーを使用しています。

通常のバッテリーの寿命は、1年です。

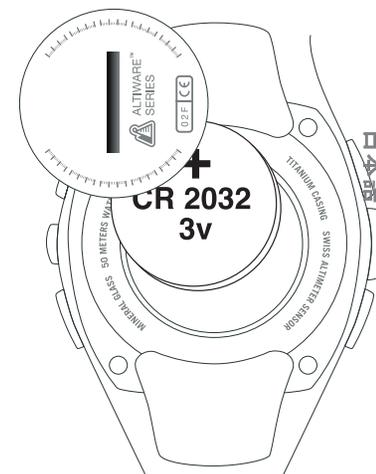
注：高度計、コンパスやバックライトを使用しすぎると、バッテリーの寿命が大きく縮めることがあります。

注：表示が暗かったり、高度計やコンパスの読取が不正確になったりした場合、バッテリーが弱くなっていることを表します。交換してください。

ケアとメンテナンス

時計バッテリーの交換

1. コインを使って、バッテリードアを外す。
2. ステンレスの電池固定具を、反時計回りに回してください。
3. 古いバッテリーを慎重に外します。O-リングシールは傷つけないでください。
4. バッテリーコンパートメントに新しいバッテリーを、プラス (+) 側が上に向くようにして、入れる。
5. 電池固定具を電池の上でスライドさせ、ツメを穴の中に正しくはめます。
6. 固定具を反時計回りに回してください。
7. コインを使って、バッテリードアを閉じる。
8. O-リングに傷がついた場合、バッテリードアを閉じる前に交換してください。宝飾商や時計店ではほとんど、代わりのO-リングシールを取り扱っています。



注：バッテリーを交換するときは、ユニットが完全防水になるように、注意してください。バッテリーを適切に交換し、ユニットに正しくシールを貼れなかった場合、ユニットが破損する原因となります。この場合、保証は無効となります。

WWW.HIGHGEAR.COM

CONTACTS@HIGHGEAR.COM

©2007 HIGHGEAR USA, INC.

ALL RIGHTS RESERVED

ALTIWARE SERIES

